

【NEWS RELEASE】

2024年9月6日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

令和6年能登半島地震の被災地支援について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、特定非営利活動法人 Chance For All（代表者：中山 勇魚、以下「CFA」）、特定非営利活動法人 ETIC（理事：伊藤いずみ・伊藤順平・鹿兒嶋志乃・高木俊之）、能登復興ネットワーク（代表者：木下 徳泰）と連携し、令和6年能登半島地震の被災地の復興と子どもの居場所支援に向けて、以下の取組を実施することに合意いたしました。

1. CFA との協働による子どもたちの居場所支援

能登半島地震では、学童や遊び場などの子どもたちの居場所も被害を受けました。また、被災により能登を離れざるを得なかった方々も多く存在するため、現地では子どもたちを見守る場所や人手が不足しており、子どもたちの居場所が大きく制限されています。

CFA では、被災地域の子子どもたちが安心して過ごすための場所の支援や、子どもたちを見守る人材の派遣をしており、SMBC グループは、その活動を支援するための寄付と、あわせて、居場所運営や子どもの見守り、学習支援のため、企業ボランティアを派遣いたします。

2. 地元団体へのプロボノ派遣

能登の復興支援を行う地元団体、能登復興ネットワークおよびその連携団体に SMBC グループ従業員をプロボノ派遣いたします。他企業や民間からのボランティア活動の拡大を目的に、10月から半年間、3名程度を派遣し、当団体が実施するボランティアの受け入れと調整、それに伴うバックオフィス業務等を支援いたします。

SMBC グループは、被災地で活動している団体等との連携を通じ、被災地の復興・復旧および子どもたちへの支援を行ってまいります。

以 上